



こだわりのあるスバル車ユーザーから多くの支持を得ている「レ・プレイアード・ゼロ 0W30」。ディーラーで交換ができる高性能プレミアム純正エンジンオイルと身近ではあるが、そのパフォーマンスは過酷なモータースポーツシーンで使用しても問題がないほど。SUBARUとともに何度もテストを重ねて共同開発をしてきた結果、得たものだ。そんな高性能オイルについて、本国と日本の橋渡しの存在であり、自身もエンジニアとして開発にも携わってきたジェローム氏にあらためてその魅力語ってもらった。

## 名機「EJ20」も支えてきた プレミアム純正エンジンオイル

# 一番身近な高性能オイルの 素性を紐解いていく

## LES PLÉIADES ZERO 0W30

スバル純正プレミアムエンジンオイル／レ・プレイアード・ゼロ 0W30

■全化学合成油 ■SAE粘度：0W-30 ■ACEA規格：A3/B3、A5/B5  
<http://www.pleiades-zero.com>



webは  
コチラ

### 世界スーパーメジャーの ひとつであるトタル社

オイルと言ってもエンジンオイルや工業用オイルなど数多くの種類がある。石油の採掘から精製、世界各地のガソリンスタンドでのガソリン販売や、エンジンオイルや工業用オイルなど様々な潤滑油を製造している会社があり、それらの中でも超大手メーカーが「スーパーメジャー」と呼ばれている。

スバルのディーラーで交換できるプレミアムエンジンオイル「レ・プレイアード・ゼロ」をスバルと共同で開発したのが、この世界スーパーメジャーのひとつである「トタル」。一番身近な高品質エンジンオイルとして、どのような素性を持っているのか？ 各メーカー向けの開発担当をしているジェローム氏に話を伺った。

### スバル車のために開発された 「レ・プレイアード・ゼロ」

スバル車の特徴といえばもちろん水平対向エンジンだ。通常ピストンは垂直方向に動くが水平対向は水平方向に動く。オイルはピストンが高速で稼働するときに過熱するのを防ぎ、スムーズに動くための潤滑をさせるのが役目のひとつ。オイルには粘度があり、水のようにさらさらしていないので、水平方向を向いたピストンから簡単に滑り落ちることはないが、垂直に動くピストンよりオイルが落ちやすいと長年言われ続けてきた。水平対向エンジンでのオイル管理はとても重要なのだ。

しかし現在の水平対向エンジンは強度や設計も進化し、それほどシビアに言われることも少なくなった。その要因のひとつには、エンジン保護に重要な役割を持つエンジンオイルの進化もある。トタルが開発した、スバル純正プレミアムエンジンオイル「レ・プレイアード・ゼロ」は、そんなオイル管理が重要なスバル車のために開発されたオイルであり、エンジン保護性能はもちろん、高回転まで回るエンジンに追随し、油膜切れを起こさない高性能な潤滑機能、オイルがエンジ

ンの負荷にならない粘度、そして燃費性能が求められた中で、どの性能も落とすことがない、というのがコンセプト。

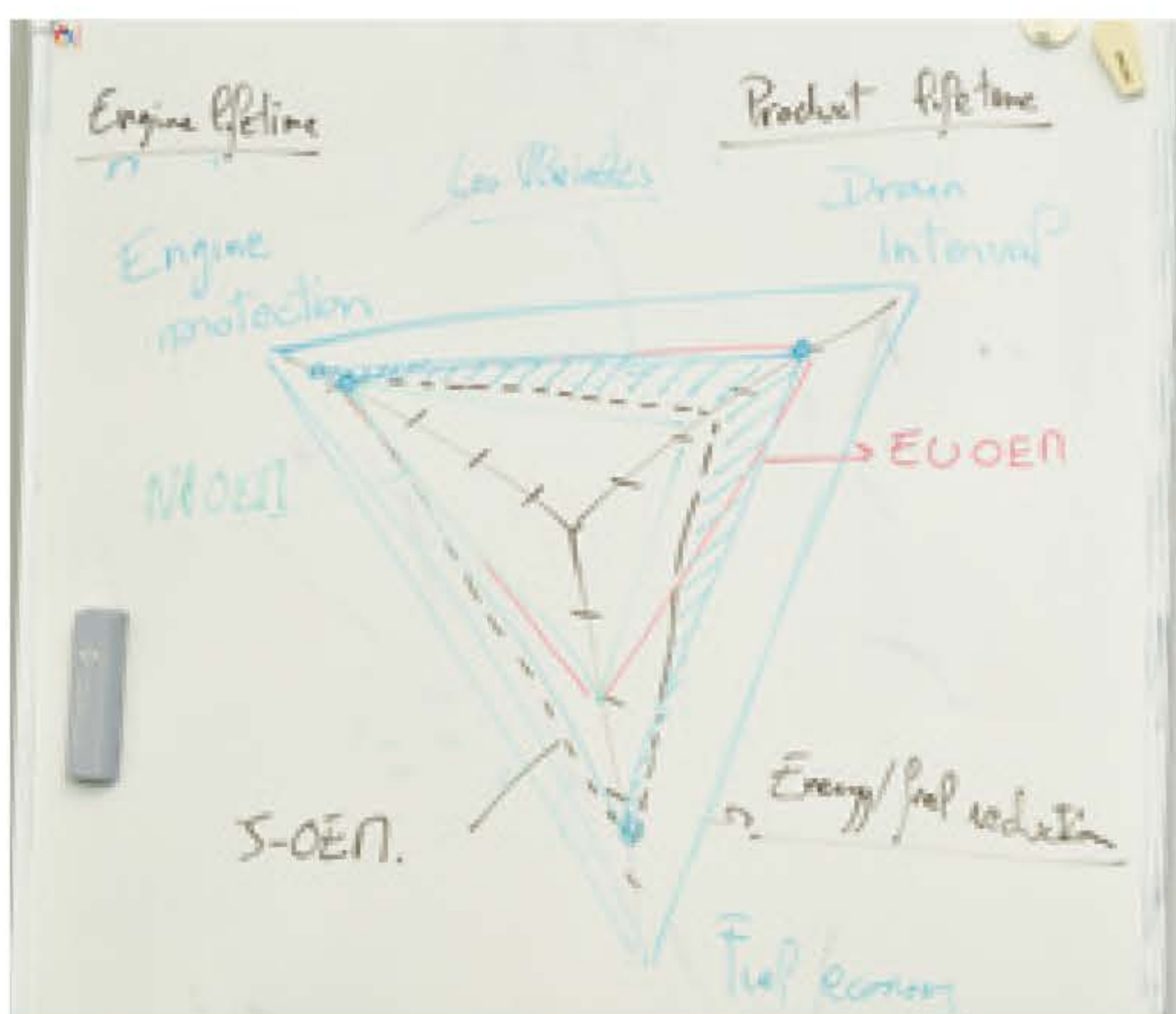
### 燃費向上や環境問題を 両立させる エンジンオイルとは？

日本の各自動車メーカーと一緒に、日本車と日本の使用環境にマッチしたオイルを開発するため、各メーカーとトタルを繋いでいるのがジェローム氏だ。欧州自動車メーカーを経てトタルに移籍してきた氏いわく

「欧州とアメリカ、日本ではオイルに対する要求性能が異なるため、実際に使われる環境ごとにオイルの性能は少しずつ違います。エンジン保護性能は同じでも、オイルの交換サイクルや環境対応、エコ性能などが違い、日本は特にエンジ

### 北米での要求、 EU圏での要求、 そしてSUBARUの要求と 違いがある！

ジェローム氏が直々に書いてくれた図がこちら。赤い線がEU圏の要求、薄緑の線が北米での要求、そして黒い点線が日本の要求。国によって、その方向性の違いにもトタル社は一つずつ対応し、商品開発をしているのがわかる。もちろん、より手間暇をかけて共同開発をしているSUBARU車用は、さらに煮詰まった特別な仕様となっている。





世界中のメーカーと「トタル」を繋ぐ  
キーパーソンのひとり

# ジェローム氏に 直撃インタビュー!!



各国の条件に合わせたオイルを開発  
SUBARUとは特に緻密な共同作業を



世界のオイル事情を知り尽くしているジェローム氏。現在は日本の使用環境に合わせたエンジンオイルの開発、そしてスバルとの共同開発の中心のひとりとして手腕を発揮している。

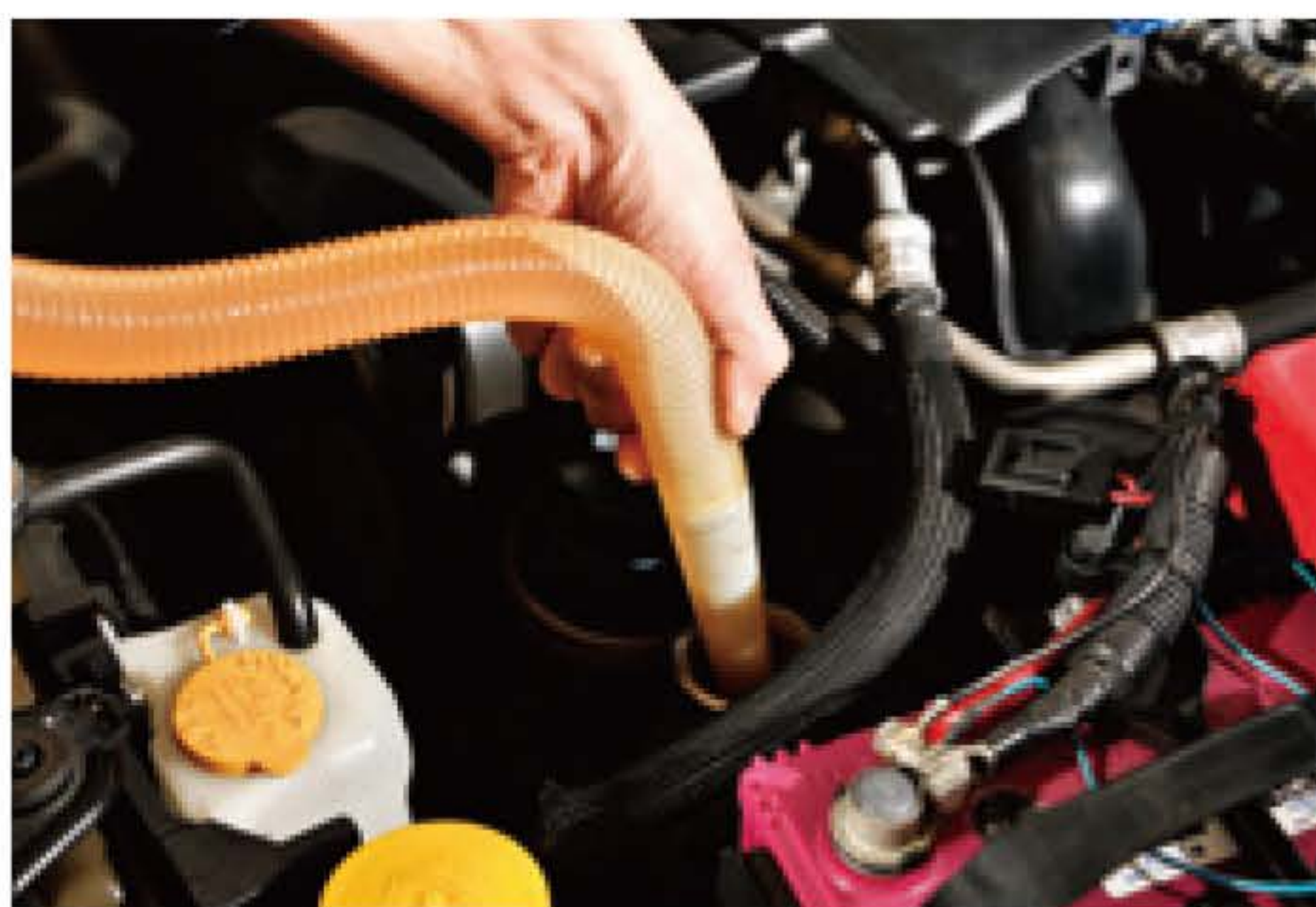
ン保護と燃費に対して厳しいものがありますね。なかでもスバルは、アグレッシブに回るエンジンと、スポーツフィリングを求めるユーザーが多く、パワーのあるエンジンが多いので、エンジン保護性能を落とさず、パワー感も損なわず、さらにエコも実現しなくてはならないので、特に難しいオーダーなんです。そんな難題をスバルと二人三脚で開発からおこない誕生したのが「レ・プレイアード・ゼロ」なのだ。

「ドライビングプレジャーを感じられるオイルに仕上がっており、実際に乗っているユーザーからも良いフィードバックを得ています。パワーとエコという相反するものを高い次元で両立させている。それがスバル車用に開発したこのオイルなんです」。

従来の考えではターボ車に粘度が低めの0W30という粘度規格orグレードは無いだろうという声も多かったが、ス

バル技術本部が指定するエンジンベンチテストもクリア。また実車テストなど、スバルの要求に対して的確に対応。名機と名高いEJ20や、現行車に使われるFA/FBエンジンのポテンシャルを余すことなく引き出す、最適解のエンジンオイルを世に送り出しているのだ。

これだけの高品質エンジンオイルの交換を全国どこのSUBARUディーラーでもできるというのは、SUBARUならではの、オイル交換を含む点検パックなどを活用するとお得もあり。



## TOTAL Lubrificants S.A. Jerome VALADE

プロダクトディベロップメントマネージャー  
ジェローム ヴァラド

欧州自動車メーカーの技術部門に勤務。その後、トタル社に入社。それまでの知見を活かして、エンジンオイルの技術開発に従事。SUBARUをはじめとする日本車メーカーのエンジンオイル開発などを担当している

